

各位

会社名 桂川電機株式会社  
 代表者名 取締役社長 渡邊正禮  
 (コード番号: 6416)  
 問合せ先責任者 取締役業務管理本部長 太田譲二  
 電話 03-3758-0181

営業外費用(為替差損の計上)、特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

1. 業績予想の修正について

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月20日に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

平成24年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (平成23年4月1日～平成23年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益(単位:円)
前回発表予想(A)	6,800	△480	△490	△500	△32.63
今回発表予想(B)	4,921	△854	△1,223	△1,380	△90.08
増減額(B-A)	△1,878	△374	△733	△880	—
増減率(%)	△27.6	—	—	—	—
ご参考: 前期第2四半期実績(平成23年3月期第2四半期)	5,496	△1,067	△1,188	△1,165	△76.03

平成24年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成23年4月1日～平成24年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(単位:円)
前回発表予想(A)	13,400	△350	△350	△370	△24.14
今回修正予想(B)	9,500	△1,400	△1,900	△2,400	△156.63
増減額(B-A)	△3,900	△1,050	△1,550	△2,030	—
増減率(%)	△29.1	—	—	—	—
ご参考: 前期実績(平成23年3月期)	11,709	△2,096	△2,175	△2,556	△166.81

平成24年3月期 第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正 (平成23年4月1日～平成23年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益(単位:円)
前回発表予想(A)	3,800	△400	△400	△400	△26.10
今回発表予想(B)	3,004	△654	△1,060	△1,066	△69.60
増減額(B-A)	△795	△254	△660	△666	—
増減率(%)	△20.9	—	—	—	—
ご参考: 前期第2四半期実績(平成23年3月期第2四半期)	3,216	△704	△969	△975	△63.68

平成24年3月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成23年4月1日～平成24年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(単位:円)
前回発表予想(A)	8,300	△520	△550	△550	△35.89
今回修正予想(B)	6,800	△950	△1,300	△1,400	△91.37
増減額(B-A)	△1,500	△430	△750	△850	—
増減率(%)	△18.1	—	—	—	—
ご参考: 前期実績(平成23年3月期)	6,999	△1,330	△1,565	△1,950	△127.26

## 2. 業績予想の修正理由

### (1) 第2四半期業績

#### ① 連結

第2四半期連結累計期間の売上高は、欧米各国における取引割合が多い中、世界経済の景気停滞、競合他社との価格競争の激化、長引く円高による為替の影響を受け、前回予想の68億円を27.6%下回る49億21百万円となる見込みであります。

営業利益は、売上高の減少要因により前回予想の4億80百万円の損失が8億54百万円の損失、経常利益は、為替差損3億90百万円を計上したため、この影響を受け前回予想の4億90百万円の損失が12億23百万円の損失、四半期純利益は、のれんの減損損失1億11百万円を計上したため、前回予想の5億円の損失が13億80百万円の損失となる見込みであります。

#### ② 個別

第2四半期個別累計期間の売上高は、国内景気の停滞、円高、価格競争の激化で、持ち直しが図れず、前回予想の38億円を20.9%下回る30億4百万円となる見込みであります。

営業利益は、4億円の損失が6億54百万円、経常利益は、為替差損4億28百万円を計上したため、前回予想の4億円の損失が10億60百万円の損失、四半期純利益は、10億66百万円の損失となる見込みであります。

### (2) 通期業績

通期の連結・個別の業績予想におきましては、世界経済の回復に先行き不透明感が残り、当社グループの事業内容は、引続き厳しさが続くものと思われれます。

このような事業環境を踏まえて、当社グループの通期連結業績予想は、当第2四半期連結累計期間の実績及び下期の為替レートを前回1ドル＝85円から80円、前回1ユーロ＝115円から110円で見直し、売上高は、前回予想の134億円を29.1%下回る95億円、営業利益は、売上高の減少要因により、前回予想の3億50百万円の損失を下回る14億円の損失、経常利益は、前回予想の3億50百万円の損失を下回る19億円の損失、当期純利益は、前回予想の3億70百万円の損失を下回る24億円の損失とそれぞれ下方修正しております。

通期個別業績予想につきましても、通期連結業績予想とほぼ同様の理由により、売上高は、前回予想の83億円を18.1%下回る68億円、営業利益は、5億20百万円の損失が9億50百万円、経常利益は、前回予想の5億50百万円の損失を下回る13億円の損失、当期純利益は、前回予想の5億50百万円の損失を下回る14億円の損失とそれぞれ下方修正しております。

### 3. 営業外費用(為替差損の計上)、特別損失の発生の内容と経緯について

平成24年3月期第2四半期におきまして、円高による為替差損3億90百万円を計上いたします。

また、当社の連結子会社であるKIP Deutschland GmbH.の現在の財務状況を踏まえ、業績見通しの再評価を行った結果、KIP Deutschland GmbH.に係るのれんの減損を実施するとともに、平成24年3月期第2四半期におきまして、この減損処理による特別損失を1億11百万円計上することとなりました。

### 4. 配当予想について

配当予想につきましては、公表済みの予想に変更はありません。

#### (業績予想に関する留意事項)

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますが、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示を行う予定であります。

以 上